

九州地区牛削蹄競技大会では、郡や県大会で勝ち抜いた人たちによって競われ、当日は九州各地から三十名の方々が参加されました。

山下さんは、栃木県で開催（十月二十〜二十一日）される全国大会に出場することになっており、その意気込みなどを伺いました。

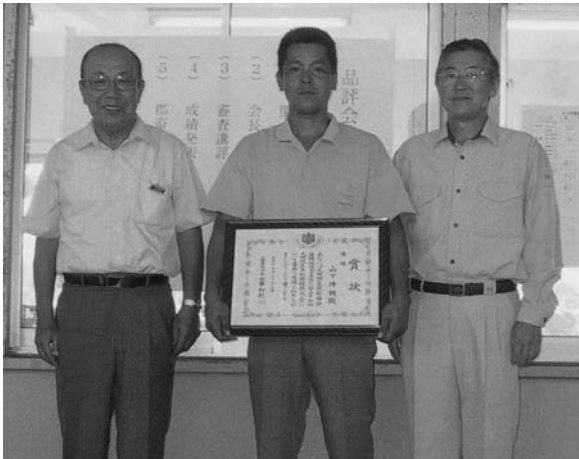
「今回の参加で六回目となりますが、初優勝を手にするのができ、たいへんうれしく思っています。これも、私に指導してくださった先輩方やまわりの方々のおかげだと感じています。また、亡くなった父もかつて削蹄師でしたが、その技術に少しでも近づけるよう努力していきたいと思っています。」

この仕事を始めて十二年になりますが、全国大会は、私にとっての夢でしたので、好成绩を収められようがんばってきます。」  
と自信に満ちた表情で語ってくださいました。健闘をお祈りします。

## 第27回 九州地区 牛削蹄競技大会で優勝

山下伸朗さん（角堂集落）

8月29日、高千穂牧場（宮崎県）において、  
第27回九州地区牛削蹄競技大会で、  
角堂集落の山下伸朗さんが見事優勝されました。  
また、東干草の東幸二さんは入賞と、  
優秀な成績を収められました。



牛の蹄（ひづめ）は一カ月に八〜十ミリメートル伸びます。蹄が伸び過ぎて形が悪くなると姿勢も悪くなり、体重の支え方や歩き方に影響し、体型も崩れてきます。放牧や運動が十分であれば、地面との摩擦によって自然に正常な蹄長、蹄形が保たれます。しかし、牛舎で飼っている場合は、繁殖牛も肥育牛も数カ月に一回、少なくとも一年に二回は削蹄し、蹄病の予防や、蹄形を矯正しましょう。

## 地球環境を守る取り組み

ぼくを  
使わなくても  
いいんだね！



大崎小学校の児童455名と職員24名のみなさんは、学校給食から出る牛乳パックをとってもユニークな方法で分別し、資源として回収する取り組みを行っています。

この取り組みは、自分で飲んだ後の牛乳パックを自分で切り開いて洗い、乾かし、指定のネット（袋）に入れるという作業です。

牛乳パックは、トイレトーパーやコピー用紙になる貴重な資源です。

そおりサイクル  
センター回収



3. まとめる



2. 拭く



1. 洗う